

学びを深めて人間力磨く

本年度の耕人塾開塾 12期生は中高生21人

石巻地方の中高生が人間力を磨く「耕人塾」(横江信一塾長)の開塾式が20日、石巻専修大学で開かれた。本年度は石巻地方や仙台市の中学、高校に通う21人が12期生として入塾。前年度を踏襲し「世界に誇れる石巻地域にしよう」発信! 未来へ」をテーマに「あいさつ、清掃、ゴミ拾い+1」の実践を心掛けていく。

耕人塾は教育機関の代表らが運営委員を構成し、小中学校の教諭や同大学人間学部の学生らが教学委員として指導を行う。月1〜3回、計12回開き、講話や体験学習、松島自然の家での宿泊研修など

意見に耳を傾け、納得するだけではなく、そこから問いを見出し、どのように合意形成するか考えてほしい」と述べた。

活動紹介後は、好きなものが書かれたカードを交換し合うアイスブレイクを実施。塾生と運営委員、教学委員が垣根を越えてコミュニケーションを取り交流を深めていた。

講話した一般社団法人「まちと人」の齊藤誠太郎代表は「石巻は頑張る人を応援してくれるまち。自

分がなにをしたいかを原動力に、さまざまなかんじを積み重ねて人間力を高めてほしい」と期待した。

前年度に続いて入塾した矢本第二中学校の貞廣あやねさん(3年生)は「人の話を聞くのが好きで今年も参加した。昨年よりも塾生との交流を深めたい」と話していた。

【泉野帆薫】



交流を深める塾生ら